



ようこそ

東亞合成大分工場へ

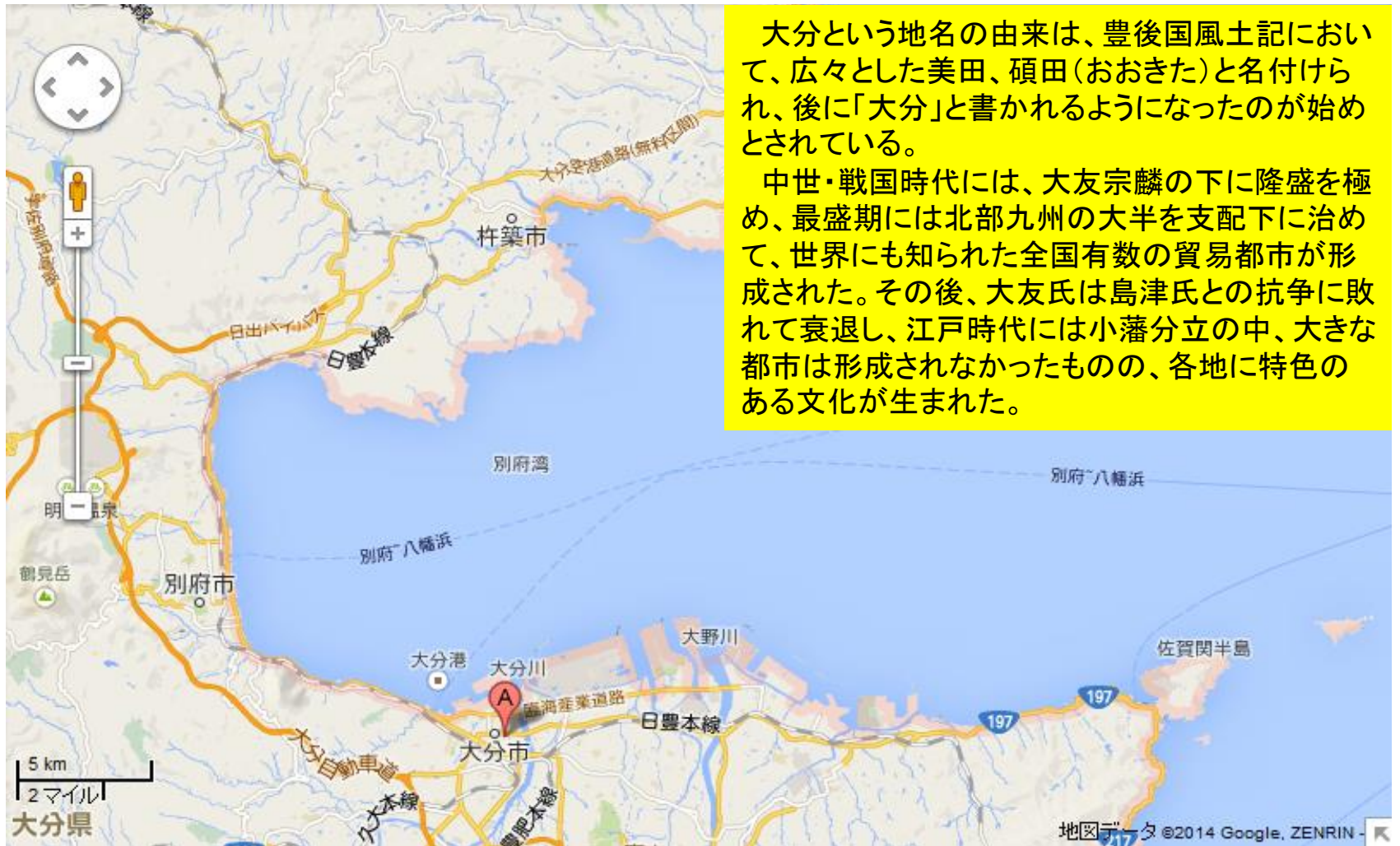
大分の紹介

大分県の人口 約114万人



大分の紹介

大分市 人口 約48万人



大分という地名の由来は、豊後国風土記において、広々とした美田、碩田(おおきた)と名付けられ、後に「大分」と書かれるようになったのが始めとされている。

中世・戦国時代には、大友宗麟の下に隆盛を極め、最盛期には北部九州の大半を支配下に治めて、世界にも知られた全国有数の貿易都市が形成された。その後、大友氏は島津氏との抗争に敗れて衰退し、江戸時代には小藩分立の中、大きな都市は形成されなかったものの、各地に特色のある文化が生まれた。

大分の紹介

大分県大分市

大分石油化学
コンビナート

ENEOS

日本製鉄

住友化学

三井造船

キャンオン

旭化成



大分工場の紹介

大分石油化学コンビナート

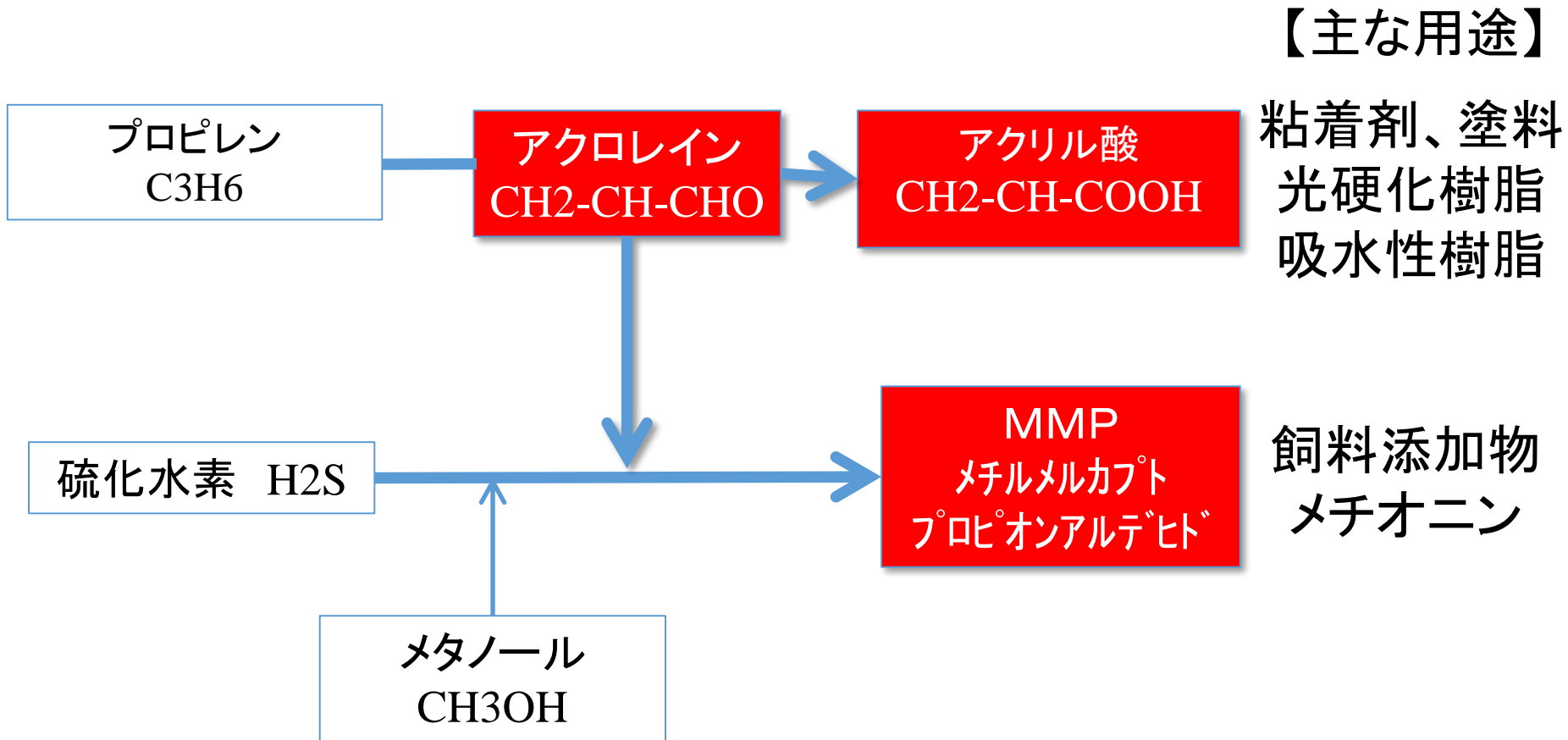
西側 日本製鉄(乙津側)

東亜合成大分工場
5万5千m²/144万m²

東側 ENEOS(鶴崎泊地)



- 〔沿革〕 **1983年10月11日 大分ケミカル(株)設立**
1983年12月16日、日昭化薬株式会社大分工場の資産を継承。昭和電工株式会社のプロピレンを主原料に、1984年1月以降アクロレイン並びに粗アクリル酸・精製アクリル酸の生産を開始。2004年1月以降、アクロレインを主原料としMMP(メチルメルカプトプロピオンアルデヒド)を生産。
- 2021年1月1日 大分ケミカル(株)解散、東亜合成(株)大分工場となる。**
- 〔設備能力〕 **アクリル酸 14万トン(年間)**
- 〔土地〕 **工場用地 55千m²**
- 〔製造品目〕 **アクロレイン、粗アクリル酸、精製アクリル酸、MMP**
- 〔所在地〕 **大分県大分市大字中ノ洲2番地 大分石油化学コンビナート内**





皆様のご来場を
お待ちしております